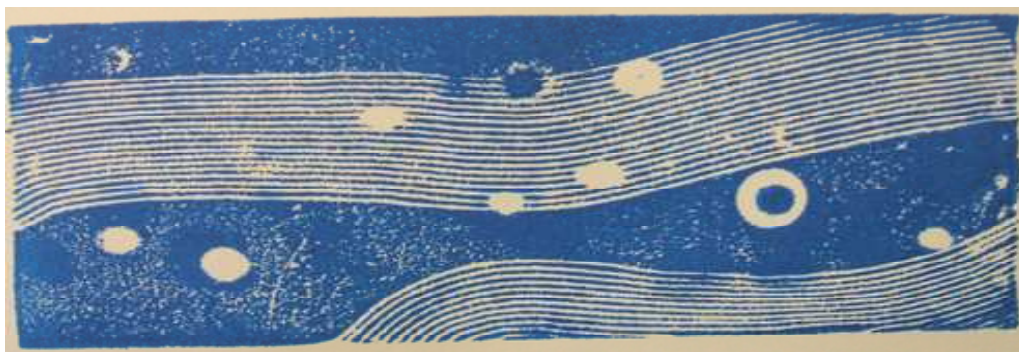


スチレン版画

凹版

□主に扱う学年・時間

1～2年 4時間



版が柔らかいので くしをつかって細い線を出すこともできる

□はんがの特徴

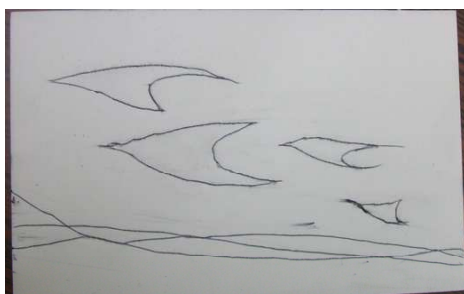
- スチレン板にボールペンなどで絵を描き、凹みをつけて写し取る版画
- 凹んだ部分が白くなる
- 石膏版にも応用ができる
- 色をつけて刷れば多色版画になる
- スチレン板を切って一枚ずつ刷る方法

□準備する材料・用具

- ①スチレンボード ②彫刻刀（平刀・切り出し） ③水性版画インク ④バレン
- ⑤インク練り板 ⑥和紙等インクを吸いやすい紙 ⑦ボールペン ⑧スポンジローラー

□授業のながれ

授業のながれ(子どもの活動)	教師の準備・支援
<p>1 版画にしたい場面を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面を描こうかな ・生活の中から ・友達 ・動物 <p>2 版をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチレンボードに絵を描く 	<p>1 参考作品を見せる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級生の作品があると参考になる <p>2 できあがりは左右反対に写ることを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチレンボードは柔らかいので、すぐに版ができる ・ただボードの種類によってボールペンなどで描きにくいボードもあるので、教師が何種類かやってみておくとよい ・発泡スチロールの板にも挑戦 ・鉛筆やボールペンで直接強めに描く ・平刀などで広い面にしてもよい



3 刷る（単色刷り）

- ①インクをインク練り板に出す
- ②インクをよく練る
- ③インクをスチレン版に付ける
 - ・ローラーを使って



- ④刷り紙の下にきれいな紙をのせる
- ⑤刷り紙をのせる
- ⑥バレンで刷る
 - ・刷ったら刷り紙の上に手のひらをのせて、まず半分刷りの様子を見る
 - ・刷りが悪かったら再びインクを付ける
 - ・もう半分のようにすを見る
- ⑦さあ 刷り上がり！
 - ・慎重にめくって
 - ・・・やったあ 刷れた！
- ⑧後片付け
 - ・ローラー、インク練り板を水道で洗う

同じことが石膏版でもできる

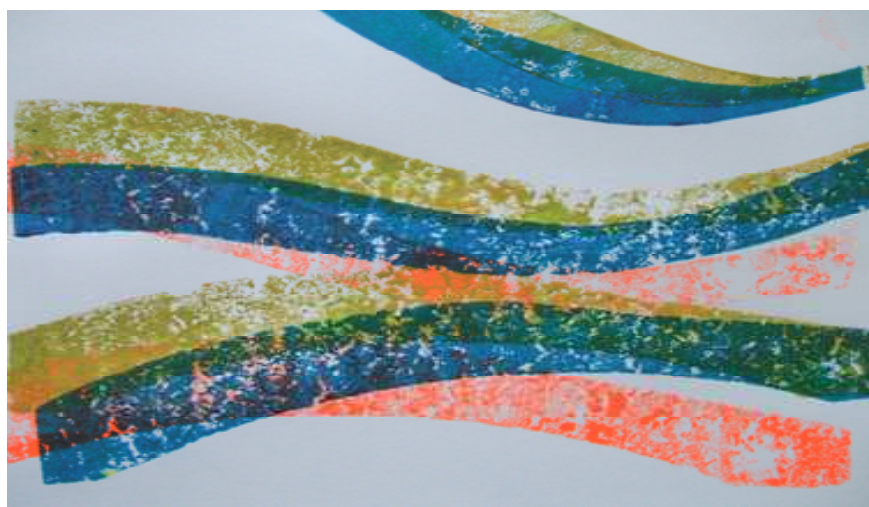
- ・刷る台の上に新聞紙を敷く
- ・更紙、ぼろ布、刷り紙などを準備しておく

- ①学年から考えると水性インクが扱いやすい色もいろいろ使える
- ②インクがハネないようにゆっくり練る
- ③インクをつけると新聞紙が汚れるので、必ずインクをつけた後、版の下にきれいな見当紙を敷いておく
 - ・なるべく曲がらず刷れるように、版の下に見当紙を敷いておくとうい
- ⑤刷り紙の大きさは版より大きいサイズ
 - ・バレンをもち、手のひらを使い全体に丸く刷る
 - ・ただスチレン版の場合はあまり力を入れない方がよい



- ⑧ローラーは新聞紙の上で何回も転がして汚れをとっておく

！石膏版画も版が違うだけで同じ方法で出来る
石膏版画はニードル、切り出して彫る



スチレン・発泡スチロールを切り、パーツをひとつひとつ刷ってみた

